

第2回千葉県子どもの読書部会報告

開催日 令和元年11月5日

事務局（教育振興部生涯学習課）

【検討内容】 質疑

① P. 9 「子どもの読書環境を取り巻く情勢の変化」の内容を2ページに増やすか。

→現状のまま1ページでよい。情勢の変化の流れがわかればよい。

② P. 12 数値目標に「特別支援（読書バリアフリー）」の要素を入れるとすると、どのような評価指標になるか。

→「読書バリアフリーに資する蔵書の活用状況」として割合を示すことはできるのではないか。

③ P. 23～26 読書バリアフリーに関する書籍等の紹介が4ページにわたり記載されているので、1ページにまとめたいが、いかがか。

→この計画は「手引き」という観点から、1ページにまとめてよい。

しかし、今の資料を巻末に移動することで活用できる。（P. 7、P. 17も同様に巻末へ移動）

【その他の変更内容】

- ① P. 12 市町村の教育委員会・学校等・図書館等が連携して行う研修や意見交換ができるように、関連する指標を入れるとよい。→第三次の目標を活用
- ② P. 15 公民館等の事業の欄に「子育てプラン『すくすく』『朗読劇』等の実践を記載する。
- ③ P. 18 特別支援学校との交流で、高校生は多くのことを学んでいる。「異校種間の共同学習」として記載してもよい。
- ④ P. 21 吹き出しの2つ目の読書バリアフリーに関する内容がよい。吹き出しではなく、「エ 子どもと本をつなぐ新しいきっかけ」の項目に位置付ける。

【委員からの御意見】

- ・セカンドブックのねらいはよい。文章が具体的になるとさらによい。
- ・「家庭で一緒に本を読む」ことにスポットをあててよい。現在は少なくなっている。
- ・学校図書館の蔵書や子どもの読書に偏りがあるように感じる。司書等への研修が必要。
- ・中高生は、どんな本を読んだらよいのかわからないかもしれない。読書の傾向等を知ることができれば本を読むかもしれない。